



# 碧南ロータリークラブ週報

第2536回例会 平成23年2月23日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール  
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
 E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



■ 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優

## ● 齊 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

## ● 本日のメニュー

洋風弁当 とんがり帽子

## ● 本日のお客様

倉内法律事務所 倉内充雄様



奥田雪雄会長

## 会 長 挨拶

—美しい暦のことば—より

土がいくらか湿り気を含みはじめる季節になりました。と申しましても今週に入り14~15℃、桜の咲く温度と記録してあります。春本番の暖かさであります。

霜や雪などの溶けた春のぬかるみを「春泥」といいますが、アスファルトでおおわれている地面ばかりを見ている私共にとっては、実感しにくいものであります。

私たちの中に命が脈うっているように、大地も生きております。

母なる大地…。そのうるおいがさまざまな生命を育んできたわけですが、ふだんはすっかりそのことを忘れ、今日の噴火だの大雪だの昨日の地震と災害が起こった時だけ、そのことを知るなんて、人間は勝手な生き物だと思います。しかし、災害にあわれた皆様には。心よりお見舞い申し上げます。

さて、力士の野球賭博につづき、相撲の八百長問題が取りざたされております。

今日、あらゆる先進社会が組織社会となり、社会的な課題のほとんどが組織によってなされてきております。

組織はそれぞれの社会的な課程を担う社会のための機関であり、その組織の目的は、人と社会に対する貢献であると。

その組織の精神=真摯さはトップから生まれるものであり、組織が偉大たりうるのは、トップが偉大だからであると。代々受け継がれてきた組織が腐るのはトップが腐るからであると。「木は梢から枯れる」との言葉どおりであるとドラッカーは言っております。

相撲ファンとしては、国技としての相撲がよみがえることを願ってやみません。真摯なトップ並びに理事の親方の出現を！、ということで本日のお話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

## 幹事報告

- 例会変更等は幹事報告書の通りです。
- 3月2日は理事会があります。



新美宗和幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数71名(内出席免除者16名の内出席者10名)出席者57名

|              |            |
|--------------|------------|
| 出席対象者 57/64名 | 出席率 89.06% |
|--------------|------------|

|               |               |
|---------------|---------------|
| 欠席者14名(病欠者1名) | 前々回修正出席率 100% |
|---------------|---------------|

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

- 木村 徳雄君 良い事はありませんが、良い事が来る様に願ってニコボックス。現世利益を求めてはいけないとはわかっていても現世利益。
- 長田 銑司君 いい事がありました。
- 奥田 雪雄君 本日は棚小にて植樹式を行います。環境保全委員長の清澤さんの指導のもと、竹中造園さんには大変お世話になります。ありがとうございます。
- 清澤 聡之君 環境保全委員会です。本日例会終了後、棚尾小学校へ植樹致します。多くの方のご出席をお待ちしております。
- 竹中 誠君 棚尾小学校の植樹事業お世話になりました。
- 山中 寛紀君 先日20日 日曜日、長女が結婚し生まれて初めて花嫁の父を実感しました。めでたいことでは有りますが、何だか淋しくもあり複雑な心境です。
- 長田 和徳君 本日、卓話の講師をご紹介致します。

## 卓話

### 「中小企業と弁護士について」

倉内法律事務所 倉内 充雄氏

#### 第一 はじめに (自己紹介)

こんにちは。本日は碧南JC時代の先輩方がたくさんいてとてもやりにくいです。

商工会議所などで話す時はテーマを絞って、お話をさせていただくことが多いのですが、今回は広いテーマでお話をさせていただきます。

私は碧南市新川町(千福)出身です。新小→新中→刈谷高校と進み高校時代に社会的正義に立ち向かうのが格好いいと思い、弁護士になりたいと思いました。中央大学法学を卒業しましたが、なかなか司法試験に合格できずに27歳でやっと合格できました。合格年度最後の2、3年は毎日10時間位勉強しました。

合格の要因は目標に向かって適切、継続的な努力をしたことでした。10年ほど前に岡崎に自宅兼事務所として開業しました。今は私と勤務弁護士2名と活動中です。



倉内充雄氏

#### 第二 変革(変質)する弁護士

##### 1: これまでの弁護士

- ①参入規制(司法試験合格者500人から700人)、弁護士の数少ない
- ②報酬基準、広告不可→競争原理は働かない

##### 2: これからの弁護士

- ①弁護士数の大増員

・平成22年には司法試験合格者3000人予定（現実には2100人）

②報酬、広告の自由化

3：過払いバブルの終息

4：弁護士会の取り組み→ひまわり中小企業センターの設立、地域弁護士

5：悪影響も顕在化

- ・権利意識。クレーム社会+広告やインターネットによる誘因→紛争・訴訟社会へ
- ・弁護士の質の低下

第三 今後増大が予想される紛争

1：未払い残業代

2：消費者契約法関係

- ・契約締結自由の原則
- ・強行法規違反

3：クレーム

①不当なクレームか否か

②誠意ある対応と毅然とした対応

4：その他（交通事故、離婚、相続など）

本日はご清聴ありがとうございました。

14時10分より記念植樹（棚小）  
環境保全委員会



次回例会案内 平成23年 3月9日（水）

卓話

碧南市長 欄宜田政信氏